

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、秋田県高等学校文化連盟に対して継続的に御支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

本連盟は、創立40周年の節目の年度、さらには令和8年に開催する全国高等学校総合文化祭秋田大会「あきた総文2026」の本格的な準備に動き出す大事な年度となりました。

これまであった16の専門部は再編と新設により全国高総文祭規定19部門の設置となり、大会や講習会などの活動がさらに活発になりました。特に、11月2日に行われた第31回秋田県高等学校総合文化祭総合開会式は本連盟初めて「あきた芸術劇場ミルハス」を主会場とし、大ホールでは創立40周年式典と公演の2部構成として、公演の内容も全国高総文祭を見据えた文化部活動の内容が伝わるステージにするなど工夫を凝らし、観覧者の皆様方から好評をいただきました。さらに、中央地区を中心とした総合文化祭の各部門においても日頃の活動の成果を披露いたしました。

夏の第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会には本県から15部門140名が参加し、自然科学部門/生物研究発表・奨励賞（秋田高校）、写真部門・奨励賞（大館鳳鳴高校）、放送部門/オーディオメッセージ部門・優秀賞（由利高校）、書道部門・特別賞/官公賞（聖霊高校）の受賞があり、12月の第38回全国高等学校文芸コンクールでは俳句部門で、最優秀賞・文部科学大臣賞（大館鳳鳴高校）を受賞する素晴らしい結果を残しました。

これらの充実した活動ができますことは、高校生の文化活動に対する皆様方の御理解と御支援の賜と存じ上げます。本連盟はこれからも未来を担う高校生の豊かな心を育んでいく所存でありますので、今後ともお力添えくださいますようお願い申し上げます。

まずは、書中をもちまして御礼申し上げます。

敬具

令和6年1月26日

特定非営利活動法人
秋田ふるさと応援団
理事長 三平 俊悦 様

秋田県高等学校文化連盟
会長 佐藤 進